

副会長の報告

期日 平成二十二年

八月二日(月)

会場 全国連合退職校長会

会議室

出席者

- 北海道 廣瀬 久 会長
  - 平間 吉春副会長
  - 東北 小嶋 久人副会長
  - 関東甲信越 大山 陸副会長
  - 東京 太田 秀副会長
  - 東海北陸 小西 優副会長
  - 近畿 浅田 弘副会長
  - 中国 平岩 武副会長
  - 四国 橋本 正範副会長
  - 九州 山下 玄洋副会長
- 他に、各部長・各委員長、事務局長及び事務局員、計二十三名が出席。

◆会議の概要

一、開会のことは  
 司会 総務 戸張敦雄  
 副会長 小嶋久人

二、廣瀬会長挨拶(要旨)

総会以降、本部の事業は概ね順調に進められています。政局はまことに不安定、これから先、ご苦労をお願いしなければいけないかと思えます。国会は「ねじれ現象」で、与党だけに交渉してもうまくいかないことがあるかもしれません。野党にも働きかけることが必要になってくるのが予想されます。そういう時には副会長の先生方にもお願いするようなことが起こるかもしれません。

副会長の先生方には、地区状況をはじめ連絡等、まとめ役としてお骨折りをいただいております。東北地区では、「東北地区情報」を昨年に続き本年も作成され、地区の各県の会長先生方との連絡、本部との連絡、副会長相互の連絡等、いろいろとお骨折りいただいていることに感謝申し上げます。

三、報告

1 総会・常任理事会の報告

総務部長 入子祐三  
 (略)

2 各部・各委員会の事業の進捗状況

総務部

- ・理事会・総会の準備・運営
- ・中央省庁への要望書提出
- ・文部科学省初等中等教育局長との懇談会の企画
- ・現職五校種校園長との連絡懇談会の実施

教育振興部

- ・「教育憲章」の普及
- ・「教育の日」の制定推進及び事業の充実

- ・家庭の教育上の役割・責任及び地域社会との関連の研究
- ・教員の資質向上のための研究・研修のあり方を研究
- ・関係機関に意見具申・提案

福利厚生部

- ・叙勲・年金・医療・介護等に関する要請活動
- ・平成二十三年度に米寿・上寿を迎える会員の調査実施
- ・平成二十一年度春秋叙勲受章者の調査実施

会報部

- ・年四回の会報発行。一月と三月の会報は、新会員勧誘支援用として希望都道府県に増配

会計部

- ・予算執行に伴う通常業務的的確かつ敏速な処理
- ・財務状況健全化検討会議設置

生涯学習委員会

- ・地域の教育振興に寄与している会員情報及び教育遺産に関する情報収集。会員の生涯学習のあり方を探る
- ・学校支援地域本部事業への会員の参画状況の情報収集

教育課題委員会

・「これからの学校教育のあり方」について研究（特別支援教育・教育行政と学校との関連）

・学習指導要領の完全実施に関わる諸課題について研究討議し、関係諸機関へ意見具申

事業委員会

・第5回出版図書について各都道府県の執筆者推薦依頼及び執筆者への原稿依頼

・総会時における研修的内容に関する情報収集

3 各省庁への要望書

・内容の詳細は本誌P2～3参照

四、意見交換

1 副会長会の申し合わせ事項について

平成二十年度副会長会で決めた「申し合わせ事項」に、第4項として「副会長は総会に議長

のほか、理事会・総会等の会務を分担する」を加えることを確認

2 各地区の現状と課題

①北海道 会長 平間吉春

・本会設立以来、初めて全会員にアンケートを実施（略）

・会務運営検討委員会を設置し、全体的な課題について検討中（会費、会員名簿、会報、機関会議のスリム化、地域懇談会、福祉部・教育情報等）

②東北 会長 小嶋久人

・地区六県のパイプをつなぎ連携を深める体制を作る目的で各県の協力により「東北地区情報」創刊号を発行、本年度第2号を発行

・発行の時期として地区協議会後に、その集約及び各県の情報を含め、年1回の発行を検討中

③関東甲信越 会長 大山 睦

・入会率は年々低くなる傾向、その原因を探り、対策の検討

・現職校長との交流、支部活動の充実に取り組み、組織の強化に努力

・教育支援活動は各県とも前向きに取り組んでいる

④東京 会長 太田 秀

・会員数、入会率とも減少している。退職後の再雇用制度、十九年度には校長の再任用制度が実施される。現在の校長の約10%は再任用の校長。会員数の減少による予算規模の縮小と士気の低下、入会者の減少からくる会員の高齢化や役員の固定化の課題解決に取り組んでいる。

⑤東海北陸 会長 小西 優

・会員数はやや減少傾向にある。高校出身者への対策が課題。活動は支部が中心で活動しないと活性化しない。

・課題として、会員数の減少、高齢者の会費免除、教育の日制定、事業のマンネリ化等。

・学校教育支援ボランティアを退職校長会として実施することを考え、力を入れている。

⑥近畿 会長 浅田 弘

・協議会は府県持ち回りで開催。開催府県を中心とした親睦交流。現職校長との連携。

・地区連絡協議会協議会「現職校長との連携」

⑦中国 会長 平岩 武

・各県とも学校支援活動、学校支援ボランティアに努力。

・地域の教育活動を活発にするために、会員が個人的に他の団体に参画して努力している。

⑧九州 会長 山下玄洋

・加入率は95%と良い。

・地区協議会（5月実施）で話題になったこと、○会員の意識向上と活性化 ○魅力ある退職校長会のあり方 ○加入促進のための具体的取り組み等。

五、閉会のことば

副会長 太田 秀